令和6年度 学校安全優良校審査資料

ふりがな 学校名	あいちけんりつなごやみなみこうとうがっこう 愛知県立名古屋南高等学校		
所在地	〒457-0833 名古屋市南区東又兵ヱ町五丁目1番11		
ふりがな 校長名	きた がわ よう いち 北 河 洋 一	電話番号	052-613-0001
メールアドレス	nagoyaminami-ko@pref.aichi.lg.jp	ファックス番号	052-614-4884

1 学校の概要（人数及び学級数は、令和6年5月1日現在）

教職員数	58人				
学級数	27学級				
幼児児童生徒数	1069人				
管理下の 重大事故		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	死亡事故	0件	0件	0件	0件
	障害事故	0件	0件	0件	0件
過去の 表彰受賞歴	なし				

2 学校安全に関する特色ある取組や研究実践

①本校の生徒保健委員会では自主性を大切にしており、毎年の活動を日常の課題から決定している。例えば令和5年度は「LGBTQ+の人が安心して過ごせる学校にしよう」という保健委員の思いから「性の多様性を認め合い、差別や偏見がなく、誰にとっても居心地のよい学校をつくろう」が活動のテーマになった。

（参考）令和2～3年度「感染予防対策の実施や周知」、令和4年度「テーピングの巻き方」

②重大な事故が発生した際、現場に居合わせた職員が迅速かつ適切に対処できるよう全職員を対象に「アクションカード」を使ったシミュレーション研修を行った。アクションカードには表に役割、裏には取るべき具体的な行動が表記されているため、誰でも迷うことなく的確に緊急時の対応を行うことができる。食物アレルギーによるアナフィラキシー発症の場面を想定し、傷病者発見からエピペン、心肺蘇生、AEDの使用、救急車要請、医療機関への搬送、保護者引き渡しまでの流れを各々の職員が、カードの指示に従って行動し訓練を行った。実際の場面を想定した訓練を行うことで、情報伝達方法等いくつかの改良点に気づくことができ、有意義な研修となった。また、職員の危機意識が高まり、緊急時に組織で効率的に対応する体制を構築する機会となった。

3 学校安全に関する取組

(1) 安全教育について

資料 1

ア 交通安全教育

全学年対象の交通安全講話を教員が講師として行っている。また、1年生は入学直後に自転車通学者指導を行い自転車の基本的なルールや注意点を伝えている。また、1年生の自転車通学者はヘルメット着用を義務とし、2, 3年生にも交通安全講話で呼びかけを行うことで、2, 3年生でも多くの自転車通学者がヘルメットを着用している。

イ 救命法講習

夏季休業日を前に、各部活動2名（キャプテン及びマネージャー等）を対象に熱中症予防講話及び消防署指導員による救命講習を毎年実施し、学校において起こりうる事故やケガの防止方法、緊急時の対応、救命方法について指導している。また、教員を対象に重大事故が発生した場合において適切な対応・処置ができるようエピペン講習会、アクションカードを使った緊急時の対応についての職員研修、救命実技講習会を実施している。

ウ 防災教育

1学期に地震及び津波を想定した避難訓練と高所避難を行っている。

エ 生徒保健委員会活動

自主性を大切に活動を行っている。毎年の活動を日常の課題から決定し、その課題解決に取り組んでいる。また、毎月の保健だよりの発行や保健ポスターの制作も行っている。

オ 情報モラル教育

L Tの時間を使い、情報の教員を講師として情報モラル講話を行っている。各教室をzoomで繋ぎ、画面と放送を使いながら生徒に身近なテーマを中心に講話を実施している。

(2) 安全管理について

資料 2

ア 健康管理

Microsoft teams を活用して毎日の健康観察を実施し、留意すべき生徒を早期に発見して、担任や関係職員が情報共有できるよう工夫している。また、生徒の保健室来室状況をスクールエンジンに記録して担任はじめ他の職員に情報提供を行い、データを効率的に活用している。

イ 施設・用具の安全点検

学期に一度、清掃区域担当教員による安全点検簿の提出により、安全かつ快適な環境整備を目指している。一目でわかる破損など、早急に対処すべき箇所については、教員や生徒による報告後、すぐに対応している。

ウ 熱中症対策

体育の授業や部活動における熱中症対策として、活動前にWBGTを測定し、環境に応じて活動場所・運動強度・活動内容を調節している。また、生徒昇降口、グラウンド横、体育教官室前にミストシャワーを設置し、熱中症対策に活用している。熱中症リスクの高い9月中旬に開催している学校祭において、文化の部では教室の窓や扉を開放して教室の冷気を廊下へ流し、教室と廊下の温度差を緩和する工夫をしている。体育の部は令和3年度より隣接の日本ガイシホールにて開催し、屋内で安全に学校行事が実施できるよう配慮している。

(3) 家庭・地域等との連携について

ア P T Aとの連携

P T A下校指導として、保護者と教員が下校の際に危険なポイントで指導を行っている。

イ 地域との連携

南警察署と協力して、笠寺駅周辺で広報活動（痴漢撲滅、特殊詐欺防止、交通安全等）の呼びかけを行っている。

(4) その他特筆すべき内容

今年度の入学生から自転車通学者のヘルメット着用を義務としているが、昨年度からヘルメット着用の重要性を呼びかけることで上級生の着用率も上がっている。今後もヘルメット着用を呼びかけ定着を目指したい。